

茨城分科会 「防災セミナー」実施報告

- ◆日時：6月12日(日)
- ◆会場：茨城県県南生涯学習センター
- ◆出席者：24名(NACS会員6名)
- ◆講師：「らぢおつくば」代表 増田和順氏
- ◆講演内容

- ・防災に関する基本的な考え方を解説。
- ・防災には自助・共助・公助の段階がある。
このことをしっかりと理解しておく必要がある。
- ・非常時には電話や携帯はつながりにくいが
ツイッターやスカイプは有効。
- ・情報の取捨選択が非常に大切。

など、面白いエピソードを交えて分かりやすく体系的に解説。後半30分ほどは質疑応答で少し時間不足。講師の増田氏は数年前までつくば市にある防災科学技術研究所で地域防災の研究に従事、実際にフィールド活動の経験も豊富な方で、つくば市内にコミュニティ放送“らぢおつくば”を設立、代表をやっておられます。要望があれば喜んでセミナー講師を引受る、と言って頂いています。僕の印象では、地域防災の観点から、自治会や町内会や学校等でWS形式で実施するのも有益かな、と思いました。今回は公開セミナーとして全国紙の地方版やローカル紙、8メディアの広報欄に掲載依頼、時宜を得たテーマだったせいか予想以上の参加者でした。

茨城分科会代表 近藤